

学習の喜び(Joy of Learning)を得るには

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 明日は衆議院議員選挙の投票日ですので、棄権のないようお願いいたします。お忙しい方には不在者投票というものがありますので、今日のうちに投票場所に行って投票していただき、棄権をしないようにしてください。国民の権利の1つとして、選挙権と被選挙権があります。選挙権は自分たちの代表を選ぶ権利で、被選挙権は国民の代表として立候補し、みんなの代表として活躍する権利です。放送をお聴きの皆さんは、今回は選挙権のほうを行使し、これぞという方に国政を託していただきたいと思います。くれぐれも棄権のないようによくお願いいたします。
3. 今日の放送は、「学習の喜び(英語では Joy of Learning)を目指してがんばろう」というテーマでお話をさせていただきます。受験生が学習の喜びを得ることは大変難しいです。例えば、自分の行きたい学校があるが、とてもとても合格には及ばないという方もいると思います。言いにくい話ですが、その方たちは入試に受からないのではないかと・希望する高校に行けないのではないかなどといった怖れ、恐怖心を持って学習しているのではないのでしょうか。これでは学習の喜びは得られません。ですから、最初は、希望する学校にどうにか受かるところまで自分の実力を高めることで恐怖心から逃れるために勉強することが大事であると思います。次は、合格安全圏内に入るための勉強です。ボーダーライン上の方、つまり合格すれすれの方もたくさんいると思います。その合格すれすれの状態から合格圏内に入るための勉強が次に大事です。
4. 合格できないかもしれないという怖れから脱却して合格安全圏内に入れると、少しずつ喜びが持てるようになると思います。それはどういうことかといいますと、学校や学習塾などで先生や友だちといっしょに受験勉強ができてうれしい・共に学べて幸せであるという愛情のようなもの、チームワークを持って勉強できるようになるということです。これが学習の喜びの1つ目です。入試に落ちるかもしれないという怖れの段階や合格すれすれという段階を上手く乗り越えて、学習の喜びが得られる段階までいっていただければと思います。

5. 学習の喜びが得られる段階になると、学習が進めば進むほど理解も進みます。学習内容が理解できれば、それを身に着けて定着させることによって試験でよい点数が取れ、社会で使える応用力がつかます。すると、自信が持てます。また、学校や学習塾などで行われる多くの試験で高い評価が得られます。家族など周りの人から「よくがんばったね」と褒められることもあります。みんなから「素晴らしいね」と賞賛されたり、よい評判を得たりすることもできます。このように、尊厳を持って学ぶことができるのも学習の喜びです。
6. 学習を深化させると、自分の可能性を追求することができます。学習すればするほどいろいろな試験に合格し、いろいろな仕事ができます。また、自分の思うような勉強や活動もできるようになります。困難な問題にも挑戦でき、自分自身の能力の向上も図れます。このような様々な成果が出てくると、自己実現が可能です。
7. 以上をまとめますと、学習の喜びとは、希望する学校に合格できないのではないかという状態から合格安全圏に入って安心できる状態になり、みんなといっしょに学べて楽しいなと思える状態になり、周りから賞賛されたり高い評価を与えられたりすることで尊厳を持って勉強できるようになり、最後は自分の可能性を深めることによって自己実現が図れるようになることです。最初は辛いかもしれませんが、がんばればここまでになります。
8. 今日のお話は、皆さんもよく耳にしていると思いますが、マズローという方の「欲求段階説」、つまり恐怖から安全へ、安全からチームワークへ、尊厳へ、自己実現へという5段階の説を参考にしています。また、日本でもかなり有名なデミングという方がいらっしゃいます。日本の生産性向上やデミング賞でよく知られていますが、この方は「働く喜び」を訴えておられます。私はデミングの考え方が非常に好きなので、働く喜びを持つにはどうしたらよいか・修業するときの喜びはどのようにして持てるのかということと、マズローの考え方を組み合わせてお話をさせていただきました。まずは、がんばって大変な状況から脱却する。そして、安全圏内に入る。それから、チームワーク、愛情を持ってみんなと学ぶ。さらには、よい成果を上げて自分自身を尊び、尊厳を持って学習する。最後には、学習することによって自己実現をする。このような形で学習をすると、学ぶ喜びが得られると思います。放送をお聴きの皆さんはどのようにお考えでしょうか。
9. 今日は、学習する喜びについてお話をさせていただきました。12月ですので、今までの学習を振り返ってみるともっともっと勉強が進むと思います。よろしく願いいたします。